MONTHLY
連合埼玉
VOL.401　2025年7月1日

発　行　日本労働組合総連合会埼玉県連合会（連合埼玉）
発行人　大谷 誠一
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19（あけぼのビル2F）
TEL048-834-2300（代表）毎月1日発行（購読料は会費に含む）
JTUC

記事内容
☆政策フォーラム
☆政策フォーラム 分科会
☆2025平和集会／沖電気工業株式会社OKI本庄工場視察
☆2025春季生活闘争　第6回回答集計結果
☆青年委員会「国会見学」／メンタルヘルスセミナー（応用編）
☆第2回地協議長・事務局長会議／埼玉公務労協5.21埼玉集会
☆職場における熱中症対策強化について／7月の行動日程
☆あけぼのビル

2025年度政策フォーラムを開催！
～政策・制度要請内容の実現に向けて～

6月3日（火）、大宮ソニックシティ国際会議場にて「2025年度政策フォーラム」を開催しました。当日は、執行部・構成組織・地域協議会役員・推薦議員など115名の参加をいただき、活発な議論がなされました。

午前中は、経営学者の藤村博之氏を招き、「減少する労働人口で働き方はどう変わるのか」というテーマで講演をいただきました。

藤村氏からは、
○労働力人口減少への対応策
○人手不足対応において、労働組合ができること
○労働組合は枠組み自体を問い直す役割があり、それを果たす必要性について
○日本の高齢化の特徴と高齢者の活躍について
などに触れていただき、今、日本が抱える人手不足問題に対して、時代に合わせた働き方の変化や、窮屈な働き方の原因になっていることなどが述べられました。一方で社会を支える側の人はあまり減っていないことや、高齢者雇用の考え方などこれからの働き方へのヒントを沢山提言いただきました。

藤村　博之 氏

そして、午後からは4つのテーマを設定し、分科会をおこない、政策・制度要請を検討する上での抱える課題や目指す方向性などについて議論を深めました。（詳細は2ページ）

今年度も昨年に引き続き、分科会の後半では、パネルディスカッションを取り入れました。パネラーには、講演をいただいた講師の皆様、推薦議員の皆様、構成組織役員の皆様に登壇いただき、それぞれの視点から発言をしていただきました。また、参加者からも多岐にわたる質問や意見が出され、予定時間を超えて論議がされた分科会もありました。

連合埼玉では今後、「政策フォーラム」の内容を踏まえ、「2025年度政策・制度要請」を策定していきますので、皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

A分科会の報告をする今井副会長

B分科会の報告をする髙橋副会長

C分科会の報告をする鈴木副会長

D分科会の報告をする関口副会長

2025年度政策フォーラム　分科会

A分科会

テーマ：埼玉県内の各種選挙における投票率の向上について
講　師：連合本部　副事務局長　内藤　靖博 氏

埼玉県内においても低投票率が問題となっており、我々労働組合がどのような取り組みをおこなっていくべきなのかの説明が講師の内藤氏からなされました。特に若者が政治を変えていく必要があり、そのためには主権者教育が重要であることも説明がありました。

パネルディスカッションでは、投票率向上に向けた県の取り組みや、労働組合と推薦議員が協力して期日前投票所を設置した話や、選挙の時だけ動く労働組合ではなく普段の活動の延長線上に政治活動があり、日頃からどれだけ組合員の役に立てるかが重要であるなどの意見が交わされ有意義な分科会となりました。

パネルディスカッション

パネラー：連合本部副事務局長　内藤　靖博 氏
埼玉県議会議員　水村　篤弘 氏
上尾市議会議員　海老原直矢 氏

B分科会

テーマ：持続可能な地域づくりと地域公共交通について
講　師：武蔵野大学工学部　教授　白井　信雄 氏

高齢者が免許返納することによって買い物や通院が困難になる場合があります。こうしたデメリットは、高齢者が免許を返納することに対する抵抗感を助長します。公共交通機関などが少ない地方における高齢者の生活の足をどう確保するのかが課題です。しかし地域によっては、人口減少や同じく高齢化といった要因により、公共交通機関の運転手不足なども大きな課題です。

パネルディスカッションでは、さいたま市や深谷市の現状や課題などについて、また持続可能な地域づくりについての議論が交わされました。

パネルディスカッション

パネラー：武蔵野大学工学部 教授　白井　信雄 氏
埼玉県議会議員　野本　怜子 氏
深谷市議会議員　福島　秀樹 氏

C分科会

テーマ：働くパパママ世代が育児休暇を取得しやすい環境に必要なこととは
講　師：NPO法人わこう子育てネットワーク共同代表　森田　圭子 氏

2023年6月に政府が策定した「こども未来戦略方針」では、民間における男性の育児休業取得率の目標2025年に50%、2030年に85%と定めています。

パパママ世代の育児休業取得率向上に向けて、どのような課題や問題があるのかを経験談を交えて説明がありました。

パネルディスカッションでは、パネラーの実体験や加盟組合の状況など講師、パネラーだけでなく、会場の参加者も一緒になり、全体で考える場となりました。

パネルディスカッション

パネラー：NPO法人わこう子育てネットワーク共同代表　森田　圭子 氏
ベルク労働組合執行委員長　中村　圭佑 氏
JAM埼玉事務局長　根岸　朋宏 氏
本田技研労働組合研究所支部執行委員　金子かおり 氏

D分科会

テーマ：現役世代のがん患者・がん経験者に対する支援は十分なのか？
講　師：一般社団法人がんと働く応援団　代表理事　吉田　ゆり 氏

政策制度要請でアピアランスケア用品の購入補助や、労働組合でも仕事と治療の両立支援がおこなわれています。講師からは、身近な病気「がん」について、「がんショック（告知後は誰でも気分が落ち込む）」ことや、3つの不安「1. 治療の不安、2. おかねの不安、3. 仕事の不安」について自身の経験談なども交えながら講演されました。

パネルディスカッションでは、埼玉県のアピアランスケア用品の支援状況や労働組合での仕事と治療の両立支援の状況など現状を踏まえ、今後の取り組む方向性など意見が交わされました。質問の中では、参加者自身の経験を踏まえた意見提言もあり有意義な分科会となりました。

パネルディスカッション

パネラー：がんと働く応援団　吉田　ゆり 氏
埼玉県議会議員　小川　寿士 氏
連合埼玉執行委員　近藤　正人 氏

連合埼玉2025平和集会

戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、次世代に継承する

6月7日（土）、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、次世代に継承することを目的として、構成組織の組合員とその家族を含め40名の参加のもと、平和集会を開催しました。

今回は、埼玉県内の平和や戦争について学ぶ施設である「原爆の図丸木美術館」と「埼玉ピースミュージアム【埼玉県平和資料館】」を巡るバスツアーを開催しました。埼玉ピースミュージアムに集合した後バスに乗車し、開会のあいさつを連合埼玉を代表して平尾会長がおこない、丸木美術館に向かいました。

「丸木美術館」では、美術館職員より、美術館の設立者である丸木夫妻が「原爆の図」を描くことに至った経緯や、絵をつうじて丸木夫妻が伝えたかったことは何なのかをご説明いただきました。参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後バスに戻り、埼玉ピースミュージアムに向かいました。到着後、館内を自由に見学し、防空壕や食事など戦時下の状況を知ることで、平和で自由な国で暮らせることの幸せを実感しました。

その後、1945年8月14日終戦前夜に受けた熊谷市の惨劇を描いたアニメーション映画「最後の空襲くまがや」を鑑賞しました。非常に衝撃を受ける内容で戦争の悲惨さを改めて考えさせられました。

鑑賞後に同講堂にて閉会の挨拶を連帯活動委員会の竹内委員長からいただき、平和集会を終了しました。引き続きこうした思いを沖縄・広島・長崎・根室の平和行動へと繋いでいきます。

平尾会長

丸木美術館にて

ピースミュージアム見学

竹内委員長

沖電気工業株式会社OKI本庄工場を視察

～連合埼玉2025年度第７回執行委員会～

連合埼玉執行委員会は、年1回執行委員会時に構成組織の視察を併催しています。本年度は電機連合埼玉地協の協力により、沖電気工業株式会社 OKI本庄工場を視察しました。当日は、沖電気工業の事業内容や、2022年7月に稼働開始をした「H1棟」の仕組みやコンセプトの説明を受けました。「H1棟」は脱炭素に配慮した『ZEB』認定を取得しています。『ZEB』は、快適な室内環境を実現しながら建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目的としたZEB（Net Zero Energy Building）の中でも、基準となる一次エネルギーの消費量に対して設計エネルギー削減率が100%以上の省エネを達成した建物のみ認定されるもので、大規模生産施設として国内初となる認定となったそうです。説明が終了した後に、「H1棟」での生産現場の見学をおこない、工場内に設置された説明ポイントを巡りながら、「モノづくり基盤強化」に向けたOKIの「Manufacturing DX」の実践を体験しました。

さらには、地元産の秩父杉の使用など地域社会との共生に配慮した工場としても注目されている作りを見学しました。

沖電気工業のキーテーマである、「社会の大丈夫をつくっていく」を実感でき、参加した執行委員からも、好評を得た視察となりました。

執行部集合写真

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/

連合：2025春季生活闘争　第6回回答集計結果（抜粋）

粘り強い交渉で昨年を上回る高水準の賃上げ続く！

連合は2025春季生活闘争の第6回回答集計を6月5日（木）に公表しました。

【概要】

○平均賃金方式で回答を引き出した4,863組合の加重平均（規模計）は16,399円・5.26%（昨年同時期比1,163円増・0.15ポイント増）となった。300人未満の中小組合（3,412組合）は、12,453円・4.70%（同1,092円増・0.25ポイント増）であった。いずれも昨年同時期を上回っている。

○賃上げ分が明確にわかる3,339組合の賃上げ分は11,763円・3.71%（同1,115円増・0.17ポイント増）、うち中小組合（2,071組合）は9,511円・3.51%（同1,220円増・0.35 ポイント増）となった。賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降の最終集計結果と比べ、額・率ともに最も高い。

○有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給67.02円（同4.32円増）と、昨年同時期を上回った。時給の引き上げ率（概算）は5.81%で、一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

1. 賃金引上げ（月例賃金）＜第6回回答集計結果（6月2日集計・6月5日公表）＞

①平均賃金方式（集計組合員数による加重平均）

平均賃金方式	2025回答（2025年6月5日公表） 累計組合数 累計組合員数	定昇相当込み賃上げ計 額	定昇相当込み賃上げ計 率	昨年対比	2024回答（2024年6月5日公表） 累計組合数 累計組合員数	定昇相当込み賃上げ計 額	定昇相当込み賃上げ計 率
	4,863 組合 2,933,516 人	16,399 円	5.26 %	1,163 円 0.18 ポイント	4,938 組合 2,886,335 人	15,236 円	5.08 %
300人未満　計	3,412 組合 331,702 人	12,453 円	4.70 %	1,092 円 0.25 ポイント	3,516 組合 332,855 人	11,361 円	4.45 %
～99人	2,036 組合 87,127 人	10,976 円	4.38 %	1,390 円 0.42 ポイント	2,144 組合 89,338 人	9,586 円	3.96 %
100～299人	1,376 組合 244,575 人	12,978 円	4.80 %	961 円 0.18 ポイント	1,372 組合 243,517 人	12,017 円	4.62 %
300人以上　計	1,451 組合 2,601,814 人	16,932 円	5.33 %	1,148 円 0.17 ポイント	1,422 組合 2,553,480 人	15,784 円	5.16 %
300～999人	947 組合 508,307 人	14,855 円	5.08 %	749 円 0.07 ポイント	934 組合 505,907 人	14,106 円	5.01 %
1000人～	504 組合 2,601,814 人	17,441 円	5.39 %	1,230 円 0.20 ポイント	488 組合 2,047,573 人	16,211 円	5.19 %

※2025年と2024年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない。

②有期・短時間・契約等労働者の賃上げ

時給	2025回答（2025年6月5日公表） 累計組合数 累計組合員数	賃上げ額・率	平均時給（参考値）	昨年対比	2024回答（2024年6月5日公表） 累計組合数 累計組合員数	賃上げ額・率	平均時給（参考地）
単純平均	376 組合 858,816 人	59.67 円 5.17 %	1,214.87 円	5.81 円 0.26 ポイント	381 組合 883,440 人	53.86 円 4.91 %	1,152.10 円
加重平均		67.02 円 5.81 %	1,219.88 円	4.32 円 0.07 ポイント		62.70 円 5.74 %	1,154.70 円
月給	累計組合数 累計組合員数	賃上げ額	率（参考値）	昨年対比	累計組合数 累計組合員数	賃上げ額	率（参考値）
単純平均	127 組合 25,798 人	9,925 円	4.30 %	807 円	142 組合 27,537 人	9,118 円	4.22 %
加重平均		10,144 円	4.38 %	▲ 707 円		10,851 円	4.97 %

青年委員会　国会見学

政治・社会への関心を高める

5月30日（金）、連合埼玉青年委員会は、構成組織からの参加者・幹事を含め11名の参加にて、国会見学を開催しました。

午前中に連合埼玉推薦国会議員との意見交換会をおこない、若い世代の役員が働く者の代表として個々の組織の課題を提起するなど、積極的な意見交換がおこなわれ、政治の場へ意見を届ける重要性や、日常では知り得ない異業種の課題を知る機会にもなりました。

昼食は、参加者全員で衆議院議員会館の食堂にて意見交換をしながらいただき、日頃の国会議員の活動を知りえる機会となりました。

その後、衆議院議場でおこなわれていた本会議を傍聴しました。当日は「年金制度改革法案」が緊急上程され、各党代表の討論を目の前で聴くことができました。重要法案の採択の場で非常に迫力のある国会を見学する事ができ、貴重な体験をさせていただきました。

また「領土・主権展示館」では、多くの写真や映像がわかりやすく展示されており、日本の領土について学ぶことができました。

引き続き、青年委員会の活動をつうじ、政治への関心や社会との繋がりを身近なものとしていけるよう、役員一同取り組んで参ります。

推薦議員との意見交換①

推薦議員との意見交換②

参加者一同

メンタルヘルスセミナー（応用編）開催

「仕事も充実、気持ちも充実」できる職場にするために（ワーク・エンゲイジメント）

6月5日（木）あけぼの会館会議室にて、メンタルヘルスセミナー（応用編）を開催しました。

講師に株式会社エイトドア 代表取締役下田 静香氏にご登壇いただき、ワーク・エンゲイジメント（ポジティブで充実した「活力」「熱意」「没頭」の三要素をキーワードとした心理状態）をテーマに、「従業員自身ができること、組合や会社が支援できること」をサブタイトルとした講演をおこないました。

講演は、組合又は会社組織との関係に着目し、自己効力感ならびに動機付け、メカニズム、コンセプチュアルスキル（概念化能力）などを習得し、仕事を楽しむためのセルフモチベーションマネジメントへの実践へつなげるという内容でした。

また、グループ討議では、直面している問題を、当講義内容で得た解決策から導き、更なる課題を提起するなど、幅広く積極的な議論が交わされました。

労働政策委員会では、当セミナーを職場のメンタルヘルス対策の安全配慮へと活かせるよう、労使の参加を要請しており、今回3割の使用者の方にご参加いただきました。

次回のメンタルヘルスセミナー（基礎編）は9月を予定しています。多数のご参加をお待ちしております。

あいさつをする髙橋副会長

講師：下田 静香 氏

セミナーの様子

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/

～　2025年度第2回地協議長・事務局長会議を開催　～

5月29日（木）あけぼのビルにて、2025年度「第2回地協議長・事務局長会議」を12地協12名の役員と4名のアドバイザーの出席のもと開催しました。今回は、「連結会計システム研修」と「地協議長・事務局長会議」の二本立てでおこないました。

まず、「連結会計システム研修」では、株式会社アクシス川北氏から、①メニューの説明　②基本操作　③伝票入力及び伝票訂正　④照会処理　⑤出力処理と基礎から実践まで　以上の内容について説明を受けました。

「地協議長・事務局長会議」の冒頭では、連合埼玉平尾会長より、①諸外国・国内における災害関連について　②2025春季生活闘争「第5次春闘集計結果」について　③選挙関連について　④地域協議会再編成に向けた取り組みについて、挨拶が述べられました。

会場の様子

その後、各地域協議会からの活動報告・各地域事務所からの活動報告ならびに地域協議会支援活動報告などがなされました。また、これまで議論を進めてきた地協再編検討委員会の検討内容などの説明がなされ、相互の認識共有がされました。

加えて、「宅配を１回で受け取ろうキャンペーン」駅頭街宣の協力をおこない、会議を終了しました。

【2025年度第2回地協議長・事務局長会議議事】

1. 参議院議員選挙の取り組みについて
2. 2025年度「連合埼玉市長・町長政策懇談会」の開催に伴う地協推薦枠の設定について
3. 地域協議会活動報告
4. 地域事務所活動報告/地域協議会の業務支援について
5. 地協再編経過報告について
6. その他

公務労協　埼玉県公務公共サービス労働組合協議会主催

良い社会をつくる公共サービスを考える5.21埼玉集会を開催

5月21日（水）さいたま共済会館にて、埼玉県公務公共サービス労働組合協議会主催の「良い社会をつくる公共サービスを考える5.21埼玉集会」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して、埼玉公務労協の椎名議長からコロナ禍や大規模災害での対応において、改めて住民の生活を支える公務公共サービスやそこで働く労働者の必要性が再認識されているとの挨拶がありました。その後、「公務公共サービスの必要性」というテーマで、連合埼玉推薦　枝野幸男衆議院議員を招き、講演いただきました。

枝野議員からは、我々が生活する上で欠かせないインフラは民間も参入している分野もあるが、基本的な部分は公務公共サービスが支えていることから、必要性、重要性について語られました。

しかしながら、様々な理由によりサービス提供の価格が上げられていないこと、それにより経費削減が必要となり、人件費が押さえられ離職につながり人手不足が慢性化していることなど、公務公共サービスが抱える問題点が述べられました。その解決策として枝野議員の経験から、海外での成功例や国内での今後の対応策などが挙げられ、参加者が大きくうなずき賛同していたことが印象的な集会となりました。最後に浅井副議長から、公務公共サービス一丸となって頑張っていく確認がされました。

講師：枝野 幸男 氏

会場の様子

職場における熱中症対策強化の義務化について

労働安全衛生法規則改正第612条の2（令和7年6月1日施行 新設）

令和7年6月1日から、職場における熱中症対策が義務化され、企業は具体的な対策を講じる必要があります（労安則第612条の2）。また、企業が対策を怠った場合は、「事業者は、**高温**などによる健康障害を防止するため必要な措置を講じなければならない」（労安法第22条第2号）に違反し、**6カ月以下の拘禁刑**または**50万円以下の罰金が適用されます**（労安法第119第1号）。

【対象となる職場】厚生省ガイドライン

「**WBGT**（暑熱環境による 熱ストレスの評価を行う暑さ指数）**28度以上（右表参照）**又は**気温31度以上**の環境下で、**連続1時間以上**又は**1日4時間**を超えて実施」が見込まれる作業

チェックしてみよう。（事業主の義務だよ）

①体制整備　熱中症のおそれのある作業場整備等
②手順作成　①の作成時期等
③関係者への周知

身体作業強度等に応じたWBGT基準値（出典　厚労省）

区分	身体作業強度（代謝率レベル）の例	各身体作業強度で作業する場合のWBGT値の目安の値	
		暑熱順化者のWBGT基準値 ℃	暑熱非順化者のWBGT基準値 ℃
0 安静	安静、楽な座位	33	32
1 低代謝率	・軽い手作業（書く、タイピング等） ・手及び腕の作業 ・腕及び脚の作業 など	30	29
2 中程度代謝率	・継続的な手及び腕の作業［くぎ（釘）打ち、盛土］ ・腕及び脚の作業、腕と胴体の作業 など	28	26
3 高代謝率	・強度の腕及び胴体の作業 ・ショベル作業、ハンマー作業 ・重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする など	26	23
4 極高代謝率	・最大速度の速さでのとても激しい活動 ・激しくシャベルを使ったり掘ったりする など	25	20

現在予定される7月の日程表です

7月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	火		埼玉県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「第1回運営協議会」（15:30～・埼玉職業能力開発促進センター）
2日	水		
3日	木		第27回参議院議員選挙　公示日
4日	金	第8回四役・執行委員会（10:00～・13:00～／ときわ会館）	
5日	土		
6日	日		
7日	月		
8日	火		
9日	水		①地方連合会「第9回事務局長会議」（13:30～・連合本部） ②連合関東ブロック「第3回幹事会」（16:15～・連合本部）
10日	木		こくみん共済 coop「産別委員会」（15:30～・こくみん共済 coop 埼玉推進本部）
11日	金		埼玉労福協「三役会議」（14:00～・中央労働金庫埼玉県本部）
12日	土		
13日	日		
14日	月		埼玉県最低賃金審議会諮問（13:00～・労働局）
15日	火		日本退職者連合「2025年度全国組織代表者会議」（13:30～・連合会館）
16日	水		①日本退職者連合「第29回定期総会」（9:30～・連合会館） ②「埼玉の障害者雇用を進める」関係機関連絡会議（13:30～・知事公館） ③こくみん共済 coop「第443回理事会」（13:30～・こくみん共済 coop 埼玉推進本部） ④こくみん共済 coop「第8回代表委員会」（14:00～・こくみん共済 coop 埼玉推進本部）
17日	木		
18日	金		埼玉労福協「第2回理事会」（10:00～・ときわ会館）
19日	土		
20日	日		第27回参議院議員選挙　投開票日
21日	月		
22日	火	埼玉シニア連合「四役会議」「第6回幹事会」（13:00～・14:10～・連合埼玉会議室）	
23日	水		こくみん共済 coop「産別労組等推進会議」（10:00～・こくみん共済 coop 埼玉推進本部）
24日	木		
25日	金		①連合関東ブロック連絡会「組織拡大担当者会議」（13:00～・連合神奈川） ②県央地協第5回幹事会（18:30～・労金上尾支店会議室） ③ネット21夏休み親子・ファミリー自然体験 IN尾瀬（25～26日・尾瀬ヶ原）
26日	土		ネット21夏休み親子・ファミリー自然体験 IN尾瀬（25～26日・尾瀬ヶ原）
27日	日		中央労働金庫埼玉県本部「第3回県運営委員会（支店長会議合同）」（27～28日・伊香保温泉ホテル木暮）
28日	月		中央労働金庫埼玉県本部「第3回県運営委員会（支店長会議合同）」（27～28日・伊香保温泉ホテル木暮）
29日	火	第4回ジェンダー平等多様性推進委員会（16:00～・連合埼玉会議室）	
30日	水		①こくみん共済 coop「総代会」（13:30～・ロイヤルパインズホテル浦和） ②埼玉中高年世代活躍応援プロジェクト協議会（14:00～・労働局）
31日	木		①R7「北方領土返還要求埼玉県民会議第1回役員会・総会」（15:30～・あけぼのビル） ②第4回比企地域協議会幹事会（18:00～・ボッシュ）

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/

◆連続休暇の取得により、家族や仲間などと一緒に埼玉県の魅力を体験しよう！

いよいよ、7月下旬より学校の夏休みがスタートします。連続休暇の取得により、心身のリフレッシュをはかるとともに、家族や仲間などと一緒に埼玉県の魅力を体験してみてはいかがでしょうか。

連合埼玉では、2022年4月29日（金）「ときわ会館」で開催した「第93回埼玉県中央メーデー」において、落語家の三遊亭 鬼丸さんを招き、「三遊亭 鬼丸がSAITAMAの魅力を発信！」と題し、構成組織の組合員や家族などから募集した「私の好きな埼玉」について紹介しながら、埼玉県の魅力を発信してもらいました。具体的には、「風景・観光の部」と「グルメ・特産品の部」を設定し、構成組織の組合員や家族などから応募していただいた作品（「風景・観光の部」／10作品・「グルメ・特産品の部」／13作品）の中から、数作品を紹介していただきました。

今回は、応募いただいた「グルメ・特産品の部」の作品（一部）について、改めて紹介しますので、ご家族、ご友人などと一緒に出かけてみてはいかがでしょうか。

【グルメ・特産品の部】

○「行田フライ」

最優秀作品／米内 宏美さん（UAゼンセン）

＜おすすめポイント＞

私は「行田フライ」が好きです。あの素朴な食べ物を初めて食べた時は驚いたけれど、あの日は感謝しか思い出せません。あれは…30年以上前の事。19歳の私が美容師のインターン時代の出来事です。月8万円のお給料で3万円の寮費…カツカツなインターン時代。店の休みの日、講習会で都内へ。帰りに最寄り駅からバスに飛び乗ると暗闇ながらも知らない風景。寮とは違う道に気づき飛び降りると見たことのない場所。泣きたくなるくらい心細くてトボトボ歩き出す…

真っ暗な先に光が！近づくと「行田フライ」の文字。朝から何も食べていない…お腹はグーグー、涙はボトボト（笑）お財布を見ると残りわずかな小銭が。それでも買える「行田フライ」当時いくらだったろうか？食べながら涙は止まらない！見かねた店のおばさんが声をかけてくれて…なんと寮まで送ってくれました。

思い出すと感謝しかありません。そんなエピソードの「行田フライ」は忘れられません。

○「ラーメン　えん者」

＜おすすめポイント＞

私は県北で生まれ育ち、現在も住んでいるのですが、たびたび県南の友人や会社の先輩、後輩が地元に訪れることがあります。すると、県南から見る県北の風景はのどかであり、軽い観光気分で来る人もいます。

決まって、夜ご飯はどこかで食べることになりますが、その人の好みや、金額等考えることも多いので、自分は好きなラーメン屋に連れて行くことが多いです。

熊谷にある「えん者」は、17号沿いと籠原に2店舗あり、どちらもおいしくいただけます。自分はつけ麺を食べることが多く、濃厚スープに太麺のコントラストが食欲をそそります。見た目はこってりしているのですが、食べやすく、老若男女問わず食べられるラーメンになっており、連れて行った人はみんなおいしかったと言ってくれます。特によく食べるのは、柚子胡椒つけ麺です。ほかのラーメン店ではあまり食べることの出来ない柚子胡椒つけ麺は、しょうゆつけ麺に柚子胡椒がついており、途中で柚子胡椒を入れてもよし、最初から入れてもよしと、変化を楽しめる味となっており、いつも満足しています。

○「深谷市　山風木（やまぶき）」

＜おすすめポイント＞

深谷市の大通りから1本道を外れたところにひっそりとたたずむ、隠れ家的な店舗にて提供されるメニューは、至高の牛グルメ。牛カツ・牛タンは簡単に噛み切れるほど柔らかく、味わいも深みがあって、贅沢な酒のつまみとしてもよし、また定食として注文すると、麦飯とサラダがお代わり自由と、どちらのチョイスでも大満足すること間違いありません！

と、ここまでなら普通のグルメレポートなのですが、私が特に推したいのは店の雰囲気。店内に響き渡るのは、同じ働く仲間への感謝の言葉。事あるごとに、先輩店員から後輩に向けて、何気なく発せられているであろう「ありがとう～」の言葉。先輩、後輩関係なく、常に仲間を称えあう、我々労働組合が理想としている働き方が、このお店でしっかりできていることに、私はとても感動しました！

こんな素晴らしいお店が埼玉にあって、埼玉県民で良かった～、と思う今日この頃です

以上、応募作品の一部を紹介しましたが、この他にも「川越菓子屋横丁」「恋人は麻婆豆腐／北本本店」などもありました。

是非とも、この機会をつうじてご家族・友人や大切な人などとの「記憶に残る思い出」をつくって下さい。なお、出掛ける際には、第27回参議院議員選挙の期日前投票を済ませていただきますようお願いします。

2025.6.23

Universal Design UD Font
読みやすいユニバーサルデザイン文字